

第14回筑豊臨床検査研究会

口腔がんは近年増加傾向にある疾患ですが、早期から肉眼的観察が可能である数少ない領域の“がん”でもあります。病変部を観察しながら細胞を採取することが可能な細胞診という診断法の有用性や口腔領域特有の細胞診断の難しさなどを中心に、二名の先生方にご講演戴くことと致しました。是非、口腔がんに興味のある方、日頃から口腔領域の細胞診断に苦慮しておられる細胞検査士や病理医の先生方、また日常診療で一番最初に肉眼的変化を発見される開業歯科医の先生方に多数ご参加いただけます様よろしくお願い致します。

日 時

平成28年2月20日(土) 17時より

会 場

のがみプレジデントホテル

テーマ

「口腔がん早期発見に向けて
ー細胞診の有用性を探るー」

講 演1

17:00～17:45

座長: 社会保険田川病院 病理診断課 内田 準 技師

「口腔細胞診の有用性

ー液状化検体細胞診(LBC法)導入による効果ー」

講師: 飯塚病院 中央検査部 川嶋 大輔 技師

講 演2

18:00～19:30

座長: 飯塚病院 歯科口腔外科 部長 中松 耕治 先生

「口腔細胞診のピットホール その対応」

講師: 島根大学医学部 歯科口腔外科学講座

教授 関根 浄二 先生

参加費

無料

尚、講演終了後に講師の先生方を囲んで懇親会を開催いたしますので、多数のご参加をお待ちしております。

懇親会準備の都合上、参加人数把握のために
参加希望者は平成28年2月12日までにメールもしくは
電話でご連絡いただきますようお願い致します。

会 場: のがみプレジデントホテル

時 間: 20:00～

参加費: 5000円程度

連絡先: 飯塚病院 中央検査部 井上 佳奈子

Tel: 0948(22)3800

E-mail: labo@aih-net.com

主催: 飯塚病院 中央検査部

後援: 福岡県臨床衛生検査技師会